

第4章 省エネルギー活動を実践しましょう

取り組み目標や取り組み内容が決まったら、いよいよ実践です。社員への理解と協力を得て着実に省エネルギー活動に取り組みましょう。

また、取り組んだ効果をしっかりチェックし、一層の取り組み推進に役立てましょう。

省エネ活動を実践しましょう

1 社員に目標や取り組みの周知を図りましょう

(1) 各部門長を集めた幹部会での周知

まず、各部門長を集めた幹部会での省エネ活動の目標や取り組み内容をしっかり伝えましょう。各部門長は、朝礼などを利用して所属の社員に周知を図りましょう。

(2) 社員を対象にした省エネ説明会の開催

事務局自らが、部門毎あるいは社員研修の機会などを利用して、「なぜ、今、省エネ活動に取り組むのか」「具体的に何をしたら良いのか」が理解しやすいように説明会を開催しましょう。

2 実践のためのしくみづくり

省エネ活動を着実に進めるためには、社員自らが行動しようと思わせるしくみづくりが何より大切です。

(1) 省エネ担当者の設置

各部署毎に、中心となって活動をすすめていく省エネ推進員を設置しましょう。こうすることで、事務局自身の負担が減るとともに、各部署が主体となった取り組みにつながりやすくなります。

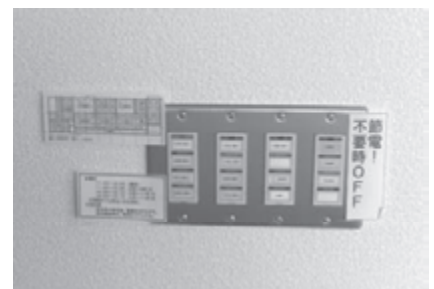
また、より多くの人に責任を持ってもらうために、「OA担当」「照明担当」「空調担当」「機械設備担当」など取り組み項目に合わせた担当を設置するのも良い方法です。

(2) 省エネを進めるための工夫

① どのラインの照明スイッチかを明示

天気の良い日中は、窓側の照明を消灯しても業務に支障がありませんが、どのスイッチを消したら良いか明示していないと、消灯にはつながりません。シールなどを使って窓側、廊下側など、一目で分かるように明示しましょう。

工場棟でもライン毎に明示することで、出勤してきた社員が自分のラインの照明だけを点灯するようになり、大幅な電気使用量削減につながります。



②掲示による社員意識の高揚

日頃から省エネ活動を意識づけるために、照明や冷暖房機器のスイッチなどに節電や消灯の徹底、適正温度の徹底を呼びかける貼り紙を掲示しましょう。



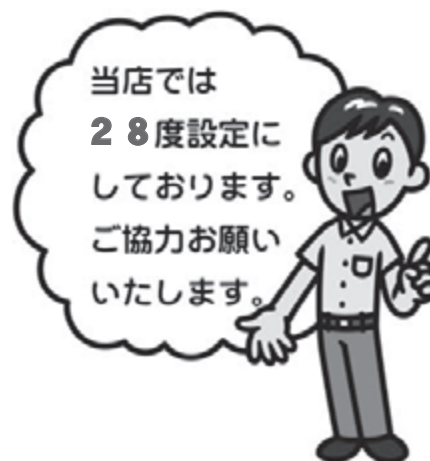
③こまめなチェック

会議室を退室する際に備え付けのチェックリストで消灯や電源オフを確認させることにより、徹底を図ることができます。

また、冷暖房温度の適正温度を徹底させるために部屋毎に温度計を設置し、確認しましょう。

④顧客や取引先への理解を求める

省エネ活動について顧客に理解を得るとともに、取引先へも広げていくための掲示を工夫しましょう。



活動効果をチェックしましょう

省エネルギー活動に取り組んだ成果を定期的に検証し、必要な見直しを行いましょう。

1 月単位で効果を確認する

部署毎に毎月の燃料使用量と使用金額を把握し、前月や前年度の同月と比較してみます。異常気象や組織体制の大幅な変更、生産高の大幅増加などの特別な理由がないのに増加している場合には、その課題を検証し、必要な是正措置を実施してください。ある部署で取り組みがうまく進んでいない場合には、部門長を通して取り組みの徹底を図ってください。

2 成果や実施状況は、全社員へ掲示物などで知らせる

毎月の実施状況をグラフ化し、掲示板に貼り、成果や課題を常に全社員に伝えるようにします。自分たちが取り組んだ結果がどれだけの成果につながっているかを示すことで、社員の一層の意識高揚につながります。

3 年度末には目標の達成率を確認し、必要な見直しを図る

年間の実施状況を取りまとめ、当初設定した目標に対し、どれだけの達成状況になったかチェックするとともに、個々の取り組みについても評価し、必要な見直しを図ってください。

【チェックリストの実事例】

環境行動計画2010年度点検・評価結果

削減目標1 事業所の電力使用量を2010年度において2007年度に比べて3%削減する				
目標の達成状況	年間電力使用量(kWh)			実績削減率(%)
	基準値(2007年度)	目標値(2010年度)	実績値(2010年度)	
	150,000	145,500	148,500	1.0%
電力使用量の削減率は1%で目標を下回っている。前年度と比較して削減率は向上しているが、一層の取り組み徹底が必要である。				
取り組み内容	取り組みの実施状況	取り組み評価	改善すべき事項	
1. 冷暖房温度を適正に設定する	・一部の課で、冷房の温度を低めに設定しており、徹底されていない	△	・無関心な人をなくすため、点検結果を社員に周知する ・各課に空調責任者を配置する	
2. 昼休み時は不要な照明を消す	・全部署で徹底されている	◎	・特になし	
3. OA機器や作業機器は使用しないとき電源を切る	・省エネ型の設備が増えた ・見過ごしが多い	○	・注意を促すシールを貼る	
4. 機械・設備等の点検掃除を定期的に行い適正運転を維持する	・週末に定期点検を実施(点検日報による)	◎	・特になし	
5. 圧縮機等の電力損失を防止する	・フィルターが目詰まりをなくしたことにより、効果がみられた	○	・吸い込み空気を改善する	

※取り組み評価 ◎：十分実施されている ○：ある程度実施されている △：あまり実施されていない

新しい技術を積極的に導入しましょう

太陽光発電

- ◆地球に優しい 発電時の二酸化炭素排出量は0です。
- ◆余った電力を売電 余った電力を売電することができます。
- ◆災害時に活躍 地震や台風などの災害で停電した場合でも、太陽光さえあれば発電した電気を非常用電源として使用できます。
- ◆節電意識の向上 表示モニターの設置により、発電状況などを確認できます。

木質バイオマスボイラー

木質バイオマスボイラーとは、木質のペレットやチップを燃料とするボイラーです。カーボンニュートラル※という考え方にに基づき、地球温暖化対策に貢献できます。

※植物は成長過程で光合成により大気中の二酸化炭素を吸収し有機物として固定化するため、例え燃焼して二酸化炭素が排出されたとしても、全体としてみれば大気中の二酸化炭素を増加させないとする考え方

LED照明装置

LEDとは「発光ダイオード」と呼ばれる電気を流すと発光する半導体の一種です。

- ◆長寿命 蛍光灯の4倍、白熱灯の40倍に相当します。
- ◆低消費電力 低い消費電力で従来の照明と同水準の明るさを保ちます。
- ◆熱線や紫外線が少ない 紫外線による退色や赤外線による傷みがほとんどないので、全国的に見ると、文化財などの照明にも用いられています。
- ◆衝撃に強い ガラス管を使用していないので、割れる心配がありません。

クリーンエネルギー自動車

石油代替エネルギーを利用したり、ガソリンの消費量を削減したりすることで排気ガスを全く排出しない、または排出しても量が少ない車をクリーンエネルギー自動車といいます。

- ◆電気自動車 バッテリーからの電気でモーターを動かして走ります。
- ◆ハイブリッド自動車 従来のエンジンと電気モーターなどの二つの動力を効率よく切り替えて走ります。
- ◆天然ガス自動車 ガソリンや軽油の代わりに天然ガスを燃料として走ります。